



国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成29年3月31日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

災害対応にヘリサインを設置

地震・出水等の災害時において防災ヘリコプター等による上空からの調査の際に、被災の場所を速やかに特定するためのマークとしてヘリサインを設置しています。

ヘリサインは、常願寺川、神通川、庄川、小矢部川の直轄管理区間の河川堤防上に、6月の出水期までを目標に順次設置を進めています。



お問い合わせ先

- 副所長 齋藤 充 TEL: 076-443-4701 (代表)
- 河川管理課長 佐々木 誠 TEL: 076-443-4720 (直通)



パレットとやま

国土交通省北陸地方整備局
富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

【参考資料】

目的

東日本大震災や熊本地震における河川管理施設の被災や近年の大出水における堤防の被災、氾濫など起きていることから、すみやかに状況把握のため、防災ヘリコプターなどによる上空からの確認することが重要となっています。

しかし、防災ヘリコプターなどにより河川を上空から見た場合、確認している位置、施設の名称を瞬時に判断することが難しい場合があります。

ヘリサイン(対空標示)は、平常時や災害時において、河川を上空から確認時におけるマークとして、河川名や河口からの距離および橋梁名などの位置情報を堤防の天端に明示するものです。

設置場所

常願寺川、神通川(井田川、熊野川含む)、庄川、小矢部川の直轄河川管理区間のうち堤防天端が県道や市町道として利用されていない区間

設置完了箇所 (H29.3.31現在)

125箇所 (約50%)



文字の大きさ : 2.5 × 1.4 ~ 3.0 × 3.0m程度

文字の線幅 : 30cm程度

標示内容 : 河川、水門、排水機場、橋梁名

距離標 [概ね河口から1 km毎に
◀ 矢印の向きは下流方向
数字は河口からの距離]

